

2015年6月より2年間、米国カリフォルニア州ロサンゼルス南カリフォルニア大学（USC）でJanos Peti-Peterdi先生の研究室にお世話になりました。研究室はロサンゼルスのダウンタウンに近いHealth Science Campus内にあります。

Janos先生は生きたままのマウスの神経を電子顕微鏡で観察す

編集後記

BHS ニュース第 12 号も、関係各位のご尽力で円滑に発刊することができました。ご多用のところ、原稿を執筆して下さった先生方に感謝申し上げます。

今年もテロを含めて世界情勢にいろいろな動きがあり、米国、欧州、韓国などいくつかの国では指導者も代わっています。その中で特に北朝鮮のミサイル問題を身近に感じるが多かったのではないのでしょうか。我が国は同盟国である米国のパートナーとして、またアジアのリーダーとして、その立場や行動が問われていると言えます。平和を希求する精神を有する我々にとって、隣国が起こす理不尽な騒動に巻き込まれず、当たり前のように日々変わらず自分達の研究が遂行できることを望みます。

そのような毎日の中、霞キャンパス構成員の日々たゆまぬ努力による成果を BHS ニュースによってお届けすることが、有益な情報を共有することに寄与していると思います。さらに、かつては分かれていた病院や施設がいくつか統合され、構成員同士が必然的に近くなり、以前にも増してより交流しやすくなったと感じています。本広報誌の情報が互いを刺激し合い、異分野間の交流、発展に一層つながれば、一広報委員として幸いに感じます。

さて、今年もわずかとなりましたので、2018 年が世界にとって、構成員の皆様にとって良い年になるよう祈念いたします。

2017 年 11 月 広報委員 上田 宏
